

(71)

氏名(生年月日)	周 ^{シユウ} 正 ^{セイ}
本 籍	
学位の種類	博士(医学)
学位授与の番号	乙第1696号
学位授与の日付	平成9年1月17日
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	胆嚢癌における同時性肝転移に関する臨床病理学的研究
論文審査委員	(主査) 教授 高崎 健 (副査) 教授 笠島 武, 亀岡 信悟

論 文 内 容 の 要 旨

〔目的〕

胆嚢癌における肝転移は解剖学的理由から他臓器癌での肝転移とは異なる面を有している。そこで、胆嚢癌における肝転移の特徴や関連する病理学的諸因子を明らかにし、肝転移例に対しての手術の適応、更に肝切除術式決定の一助とすることを目的として、臨床病理学的検討を行った。

〔対象および方法〕

教室で手術を施行した胆嚢癌症例で、癌が漿膜下層以上に達する進行胆嚢癌155例を対象とした。このうち肝切除は106例(68.4%)に行われた。切除された肝臓を5mm間隔の全割切片とし光顕的に観察した。肝転移を認めた症例は29例(19%)であった。臨床病理学的諸因子と肝転移との関連、肝転移部位、肝転移巣個数と肝転移部位およびこれらと予後との関係を検討した。

〔結果〕

1. 肝転移に関連した因子としては、組織学的にはly3, v3の症例、原病巣の局所進展状況では、癌巣が漿膜露出以上に達し、癌主占居部位が肝側であった例で、肝転移率は有意に高かった。癌の深達度が進むに従って肝転移が高率におこるものと考えられる。
2. 肝転移部位に関する検討では、肝転移例の48%は肝床部近くへの肝転移であった。また肝転移が1つのsegmentのみに存在した症例の82%、2つのsegmentにまたがって存在した症例の56%の転移部位は肝床部近くであった。また癌主病巣が胆嚢から連続して肝浸潤をきたした例では67%に肝床部近くに限局した転移

がみられた。一方3つのsegment以上に肝転移を認めた症例の肝転移部位はs1からs8までさまざま、転移部位に一定の傾向を認めなかった。

3. 肝転移が一葉にのみ認められる症例または肝転移巣が5個以下でs4・s5に認められる症例では、それ以外の肝転移症例と比較し、有意に延命効果を認めた。

〔結論〕

胆嚢癌における肝転移は肝床部近くに限局的な転移が多いことがあげられた。

進行胆嚢癌の肝切除範囲については、潜在性の肝床部への転移の可能性を考慮して肝浸潤の有無にかかわらず少なくともs4下とs5区域は系統的に切除した方がよいと考えられた。

胆嚢癌肝転移が一葉にのみ認められる症例または転移巣が5個以下でs4, s5に認められる症例は切除術の適応となり得ることが示唆された。

論文審査の要旨

中国からの留学生で、本国では中日友好病院の外科スタッフとして勤務している。数年前にも一度留学生として消化器学教室において見学生として研究にも携わっていた。今回2度目の留学で継続していた研究を完成させた。

研究内容は胆嚢癌の肝転移に関する事柄である。この研究の意義を十分に理解しており、この方面の研究についての最新の知識も十分備えている。胆嚢癌が直接浸潤で肝臓に進展していく過程についてはすでに研究がなされているが、転移の形でも胆嚢床周囲のには他の部位よりも頻度が高いことが示された。

主論文公表誌

胆嚢癌における同時性肝転移に関する臨床病理学的研究

東京女子医科大学雑誌 第66巻 第6・7号
359-365頁(平成8年7月25日発行)周正,
吉川達也, 中村光司, 新井田達雄, 吾妻司,
高崎健, 羽生富士夫

副論文公表誌

- 1) 胆嚢癌術後短期復発病例的臨床病理学研究(胆嚢癌術後短期再発症例に関する臨床病理的研究). 中華外科雑誌 31(8):477-479 (1993) 周正, 潘瑞芹, 羽生富士夫, 中村光司
- 2) 肝癌経導管化療栓塞的療効(カテーテルでの栓塞および化学療法による肝癌の治療). 中日友好医院学報 9(3):164-167(1995)周正, 王岩, 陳桂滋, 潘瑞芹
- 3) 胃癌伴他臓器転移的臨床病理学研究(胃癌におけ

る他臓器転移に関する臨床病理学的研究). 中日友好医院学報 10(1):65-68 (1996) 周正, 趙恭華, 王岩, 孔慶文, 張敏

- 4) 進行胆道癌の拡大手術における肝機能保護—PTPEと術中門脈-臍静脈間 active by-pass 作成の有用性に関する検討—. 胆と膵 17(3):263-269 (1996) 新井田達雄, 羽生富士夫, 鈴木修司, 木暮道夫, 周正, 平野宏, 大坪毅人, 吾妻司, 吉川達也, 中村光司, 高崎健
- 5) 胆嚢癌におけるリンパ節転移と拡大郭清の意義. 胆と膵 17(2):171-176 (1996) 吉川達也, 羽生富士夫, 中村光司, 新井田達雄, 吾妻司, 鈴木修司, 本橋洋一, 周正, 高崎健
- 6) 胆嚢癌肝内直接浸潤の超音波診断. 胆と膵 17(2):107-112 (1996) 吾妻司, 羽生富士夫, 中村光司, 吉川達也, 新井田達雄, 鈴木修司, 本橋洋一, 周正, 高崎健